



No.2 R3.6.11
つくし保育園
文責 中川

暑かったり涼しかったりと、気温が安定しない季節です。これからの梅雨の時期には、じめじめし、気づかないうちにたくさん汗をかいています。こまめに水分補給をして脱水を防ぎましょう。

水いぼ・とびひができれば必ず通院しましょう

夏は水あそびの回数が増え、子ども同士の肌の接触が多くなります。水いぼ、とびひがあると水あそびに支障をきたします。

水いぼ・・・衣服で隠れる場合は水あそびが可能です。感染力が全身に増えるため、少ないうちに治療を行うようにしましょう。

とびひ・・・プールに入ることを控えさせていただきます。また、顔や広範囲に広がってしまった場合には登園停止になりますので、早めに皮膚科受診をお勧めします。



発熱のおはなし

「保育園で発熱し早退したけど家に帰って計ったら熱がなかった」ということが昔も今もよく聞かれます。

園では、一回の検温で高く出ても、水分補給をして様子を見ながら、時間をおいてから検温しているのですが、それでも高い場合は連絡せざるを得ません。たびたびお迎えをお願いすることに申し訳なく感じつつ、お家でゆっくり休んでもらいたいと思っています。

極端な話、いつものことだからと安心していて急変し、大事に至るといことも考えられるのでご協力をお願いしています。

発熱後の登園時期については、ほけんだよりNo.1 をご覧ください。

以下、日本小児科学会小児科専門医の話より抜粋

- 子どもは体の機能が未熟なので、興奮や不安などを感じて発熱する場合があります。この場合は水分を摂り、心と体が落ち着けば熱が下がります。家に帰ると下がるというのは、家は子どもにとって安心できる場であるからだと思います・・・

